

芦屋市指定ごみ袋導入(案)

芦屋市指定ごみ袋(案)

令和5年度より家庭系ごみに指定ごみ袋を導入します。

指定ごみ袋の種類

- 芦屋市独自の専用指定ごみ袋(ごみ処理料金の上乗せしない単純指定ごみ袋)

対象品目

- 燃やすごみ
- その他燃やさないごみ

開始時期

- 令和5年春試行開始
- 令和5年夏本格実施

仕様等

- 作成は1種類のみ(燃やすごみ・その他燃やさないごみ共用)
- サイズは多様化(パイプラインにも対応)
- 市民の要望・意見を考慮し最終決定

その他

- 持ち込みごみは中身の見える状態のみ可
- 事業系ごみは透明ごみ袋の運用とする

指定ごみ袋の種類

指定ごみ袋とは、ごみを出す袋が指定されることで主に3種類に分類されます。

種類	説明	ごみ袋の料金
色指定ごみ袋	透明・半透明等、色を指定したごみ袋 色が合えばレジ袋でのごみ捨て可能	市場価格(店舗により異なる) 例①
単純指定ごみ袋	芦屋市の名前が入った指定ごみ袋 該当の市のみで利用することができるごみ袋	市場価格(店舗により異なる) 例②
料金上乗せ指定ごみ袋	単純指定ごみ袋のごみ袋代に、ごみ処理料金が加算されたごみ袋(有料化)	固定価格(袋の原価等にごみ処理料金が上乗せ)1リットルあたり1円が相場(45L入り10枚で450円 例③)

例①



例②



例③



- ①市販の黒いごみ袋
45L 10枚98円(市場価格)
- ②神戸市指定ごみ袋
45L 10枚88円(市場価格)
- ③神戸市事業系指定ごみ袋
(有料化)
45L 10枚840円(固定価格)

兵庫県下の家庭系燃やすごみの指定ごみ袋の導入状況

兵庫県下で燃やすごみのごみ袋に大きさも色も指定がないのは芦屋市のみになります。

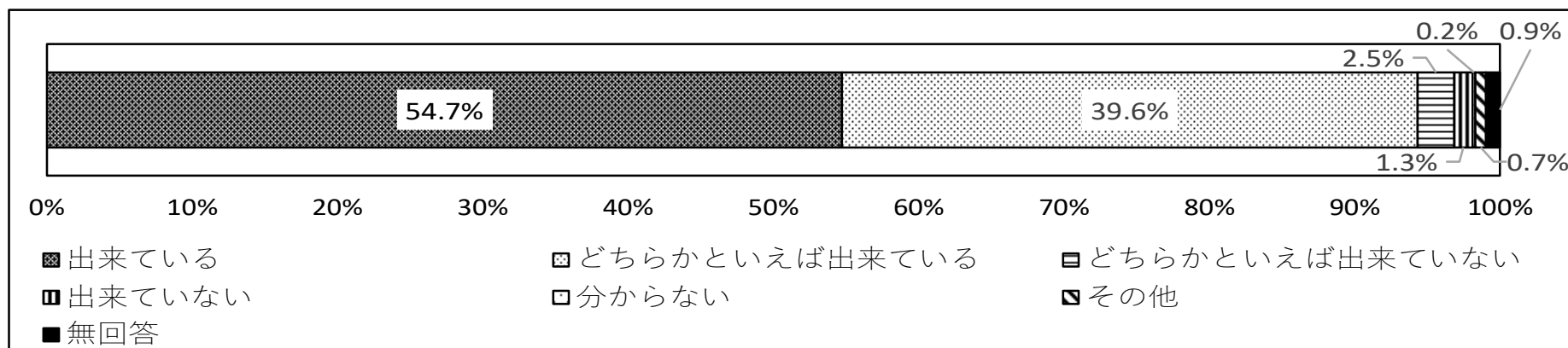
種類	該当市	市町数
色指定ごみ袋	明石市、伊丹市、赤穂市、宝塚市、高砂市、川西市、小野市、播磨町、	8市町
〇〇市指定ごみ袋 (単純指定ごみ袋)	神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市(令和4年4月～)、加古川市、三木市、三田市、たつの市、稲美町、市川町、福崎町、神河町、太子町	13市町
料金上乘せ (有料化) 指定ごみ袋	洲本市、相生市、豊岡市、西脇市、加西市、丹波篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、多可町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町	18市町
指定なし	芦屋市、猪名川町(プラのみ色指定。燃やすごみは大きさのみ指定)	2市町

現在の分別状況①

多くの方が分別ができていると回答も、一部では全く分別されていない方もおられます。

● 12分別の実施状況

「出来ている」と「どちらかといえば出来ている」を合わせて94.3%、「どちらかといえば出来ていない」と「出来ていない」を合わせて3.8%でした。



n=954、SA=954

分別をきちんとされている方も多いが……



令和元年度には水銀を含むごみの混入あり



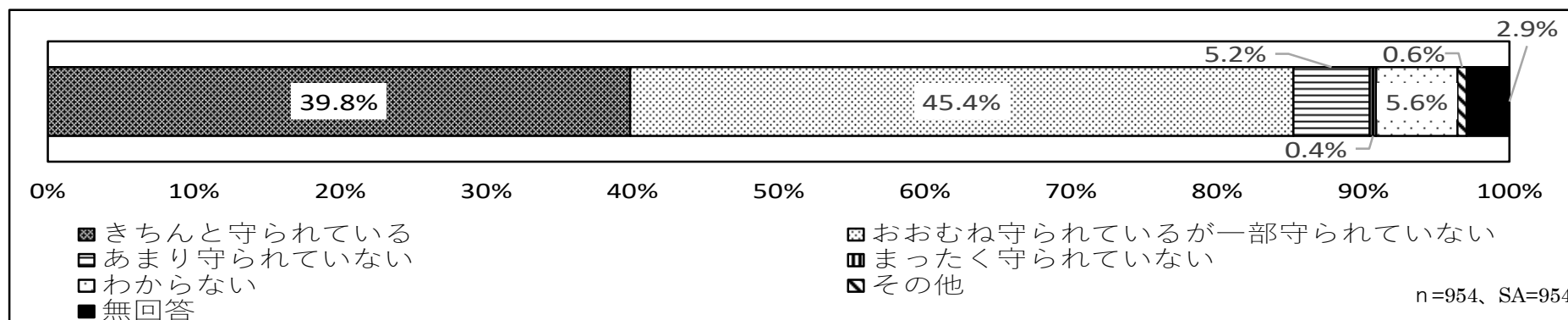
混入するごみによっては焼却炉が停止する可能性

現在の分別状況②

約半数の方がごみステーションのマナーが守られていないと思っており、その半数が分別マナーの問題です。

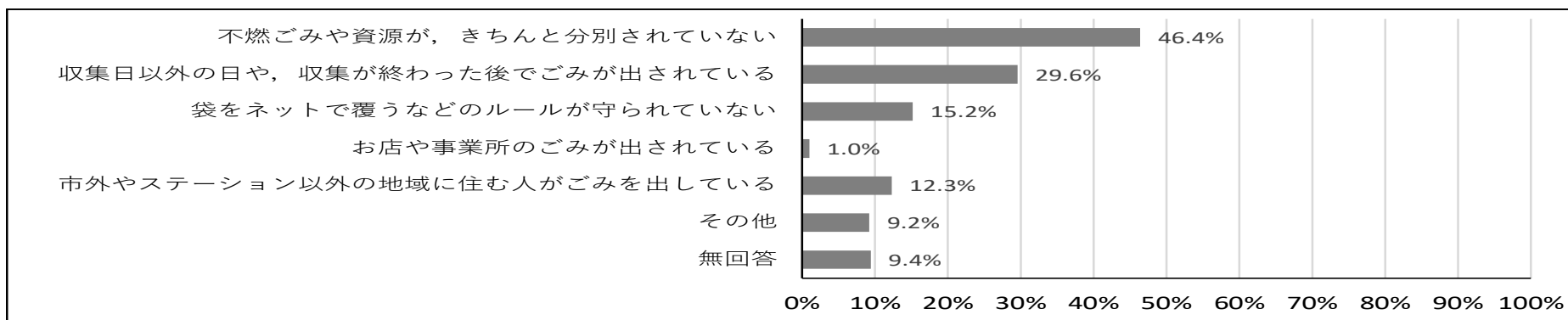
● 家庭ごみステーションやパイプライン等におけるごみ捨てのルールやマナーの状況

「おおむね守られているが一部守られていない」が45.4%と最も多く、「きちんと守られている」が39.8%、「あまり守られていない」が5.2%でした。一部守られていないと、あまり守られていないを含めると半数以上になります。



● ルールが守られていない具体的な内容

「不燃ごみや資源が、きちんと分別されていない」が46.4%と最も多く、市外やステーション以外の地域に住む人がごみを出しているという意見も12.3%ありました。



指定ごみ袋の導入効果①

単純指定ごみ袋で10%前後、有料化では10%～30%、燃やすごみの減量効果がみられます。

自治体名	人口規模	導入年月	－2年度	－1年度	導入年度	＋1年度	＋2年度	削減率※
兵庫県 A市	40万人 ～50万人	H14.4	108,891	107,413	98,718	98,931	96,863	11.0%
大阪府 B市	40万人 ～50万人	H16.4	68,493	66,291	61,727	60,705	60,676	11.4%
兵庫県 C市	10万人 以下	H27.4	15,451	15,514	14,627	14,326	14,286	7.5%
大阪府 F市	10万人 ～20万人	H18.4	19,583	20,291	16,958	17,129	17,061	12.9%
兵庫県 G市	10万人 以下	H18.10	13,051	13,321	11,904	9,824	9,929	23.9%
兵庫県 H市	10万人 以下	H19.4	14,178	14,471	9,956	10,378	10,221	27.9%
兵庫県 I市	10万人 以下	H20.4	8,009	8,027	7,160	7,281	7,078	11.6%
大阪府 J市	10万人 ～20万人	H22.4	34,444	34,569	28,483	29,386	29,155	15.4%

削減率は導入2年前2年後で比較
赤字自治体名は有料化指定ごみ袋（以下資料同）

指定ごみ袋の導入効果②

指定ごみ袋導入自治体では、特に分別排出ルールの徹底とごみの減量に効果あります。

自治体名	分別排出ルールの徹底	ごみの減量	ごみステーションの美化	費用負担の公平化	収集の効率化・安全性の向上	環境対策	事業系ごみ等の混入
兵庫県A市	効果はあった	効果はあった	分からない	目的とせず	効果はあった	目的とせず	効果はあった
大阪府B市	変化はなし	効果はあった	目的とせず	目的とせず	変化はなし	目的とせず	目的とせず
兵庫県C市	効果はあった	効果はあった	目的とせず	目的とせず	目的とせず	効果はあった	目的とせず
兵庫県D市	大きく効果があった	効果はあった	効果はあった	変化はなし	変化はなし	効果はあった	大きく効果があった
京都府E市	効果はあった	効果はあった			効果はあった	効果はあった	効果はあった
大阪府F市	分からない	効果はあった	分からない	分からない	分からない	分からない	分からない
兵庫県G市	効果はあった	効果はあった	分からない	分からない	分からない	分からない	分からない
兵庫県H市	効果はあった	効果はあった	分からない	効果はあった	効果はあった	効果はあった	分からない
兵庫県I市	効果はあった	変化はなし	効果はあった	変化はなし	効果はあった	目的とせず	目的とせず
大阪府J市	目的とせず	大きく効果があった	目的とせず	効果はあった	目的とせず	分からない	目的とせず
大阪府K市	大きく効果があった	大きく効果があった	大きく効果があった	大きく効果があった	大きく効果があった	分からない	大きく効果があった

他市調査（指定ごみ袋導入の目的と達成について項目回答抜粋）

指定ごみ袋の導入効果③

指定ごみ袋導入自治体では、減量、分別、マナーに対する市民意識も改善の傾向がみられます。

自治体名	人口規模	減量に対する 市民意識	分別に対する 市民意識	ごみ捨てマナーに対する市 民意識
兵庫県A市	40万人～50万人	改善した	改善した	分からない
大阪府B市	40万人～50万人	改善した	分からない	分からない
兵庫県C市	10万人以下	改善した	改善した	改善した
兵庫県D市	10万人～20万人	改善した	大きく改善した	改善した
京都府E市	10万人以下	改善した	改善した	改善した
大阪府F市	10万人～20万人	改善した	改善した	分からない
兵庫県G市	10万人以下	分からない	分からない	分からない
兵庫県H市	10万人以下	分からない	改善した	改善した
兵庫県I市	10万人以下	わずかに改善	大きく改善した	改善した
大阪府J市	10万人～20万人	大きく改善した	全く改善しなかった	改善した
大阪府K市	10万人～20万人	大きく改善した	大きく改善した	大きく改善した

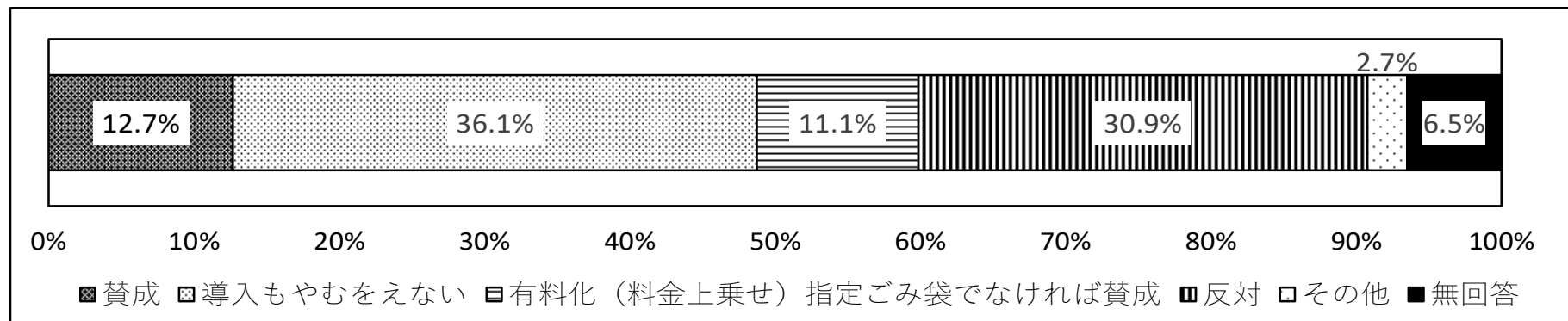
他市調査(指定ごみ袋導入によるごみ量の変化と市民意識の変化について項目回答抜粋)

市民アンケート結果① ～賛同の割合～

指定ごみ袋の導入に対して約6割の方が賛同しています。

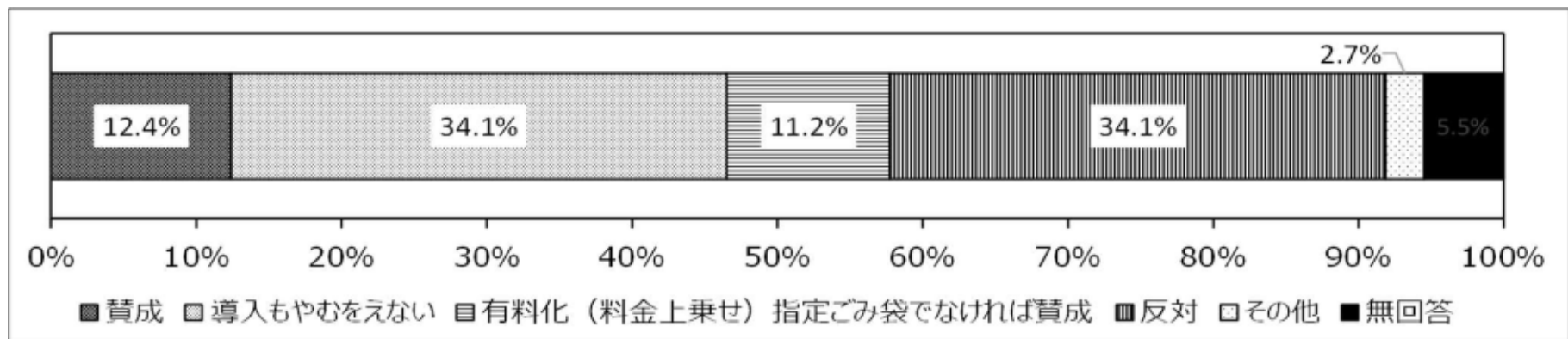
● 指定ごみ袋の導入について

・「賛成」「導入もやむをえない」「有料化(料金上乘せ)指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて59.9%が賛同、「反対」は30.9%でした。



「賛成」「導入もやむをえない」「有料化(料金上乘せ)指定ごみ袋でなければ賛成」を含めて「賛同」とカウントしています。 n=954、SA=954

・参考WEB回答合計



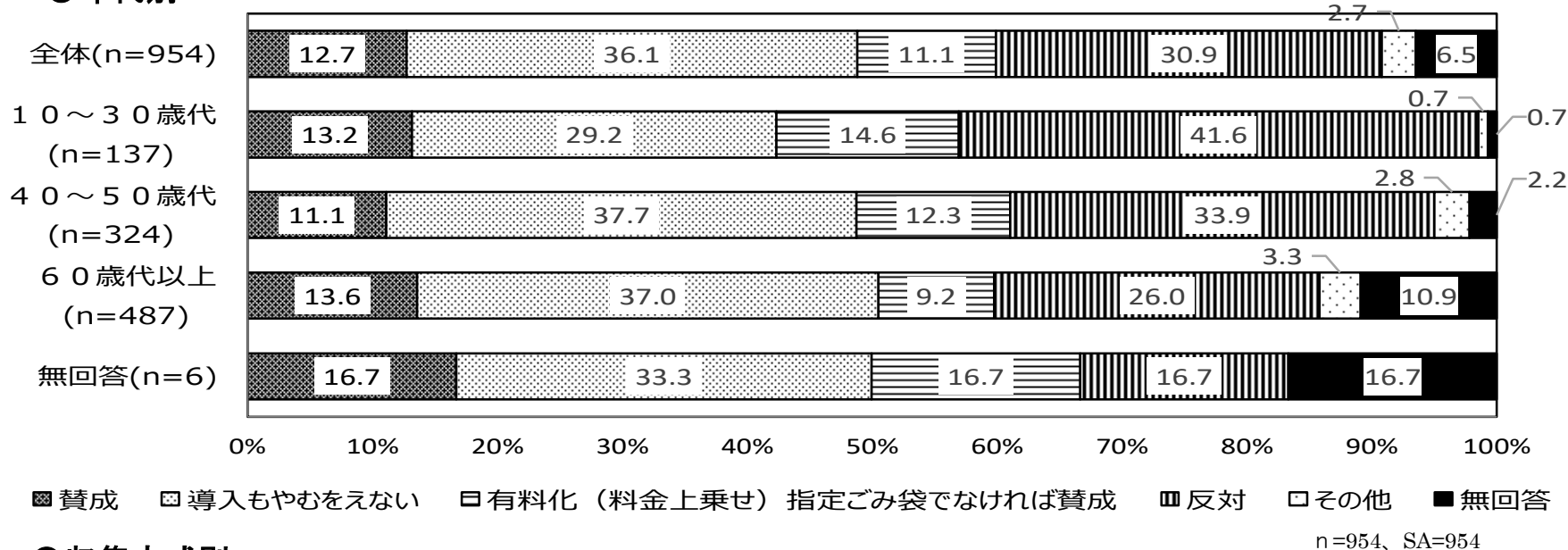
回答数 紙954名＋WEB175名

n=1,129、SA=1,129

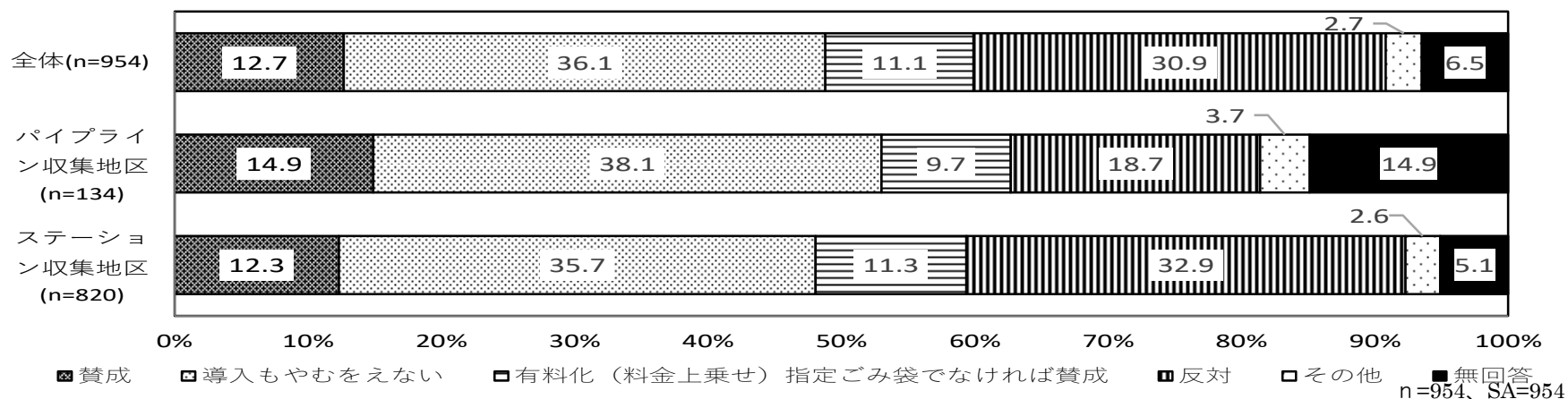
市民アンケート結果② ～年代別・収集方式別の割合～

年代別では60歳代以上～、収集方式別ではパイプライン利用が指定ごみ袋導入への賛同が多いです。

●年代別



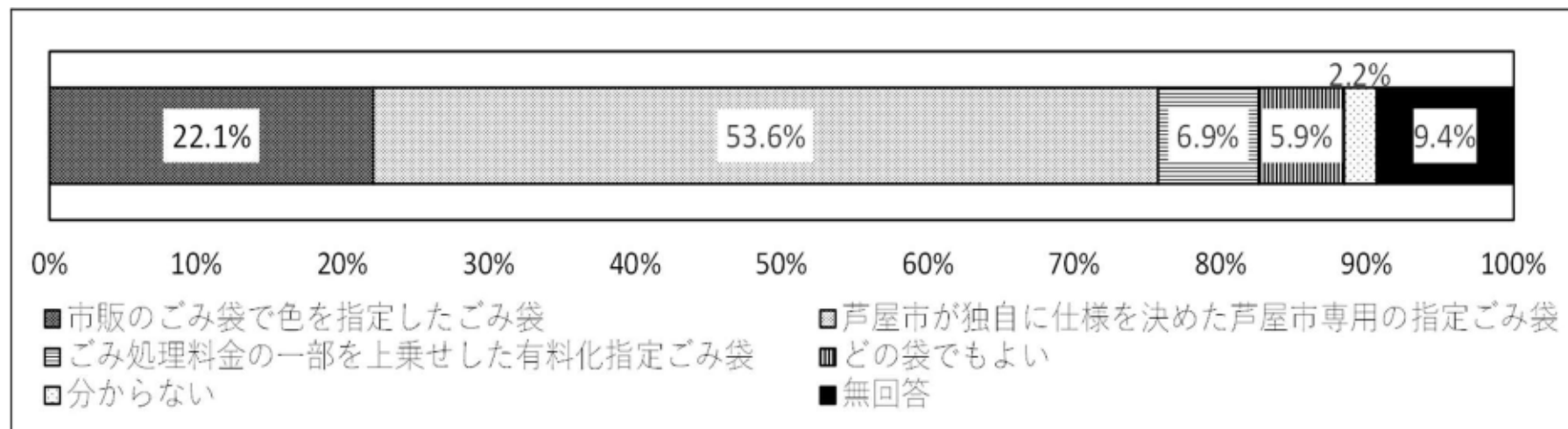
●収集方式別



市民アンケート結果③ ～導入を希望する指定ごみ袋の種類～

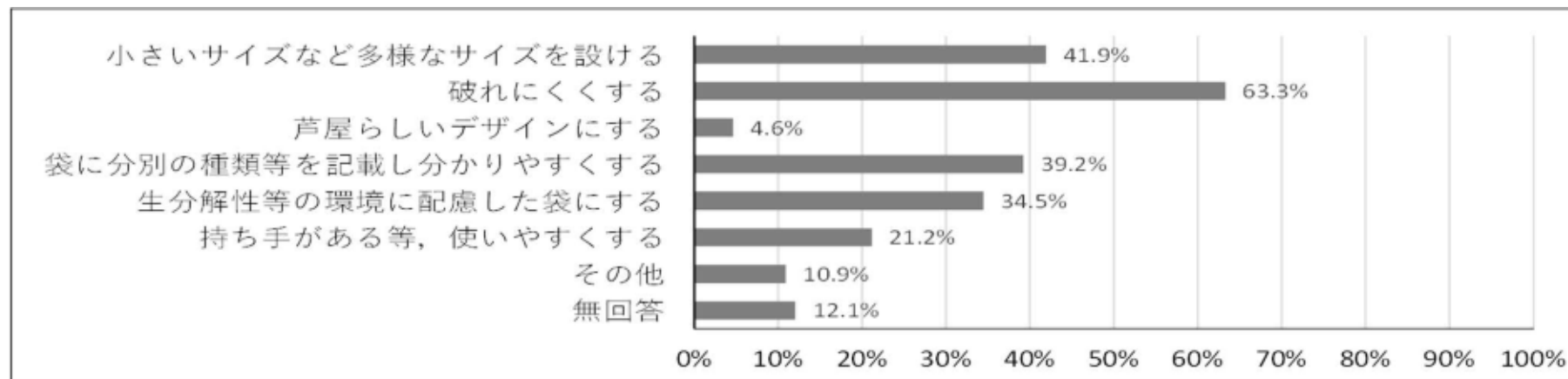
賛同意見のうち1番多いのは芦屋市独自の指定ごみ袋です。
要望で1番多いのは破れないごみ袋です。

● 導入するとした場合、どの指定ごみ袋がふさわしいか



● 指定ごみ袋を導入するうえで考慮すべき事項

n=597、SA=597

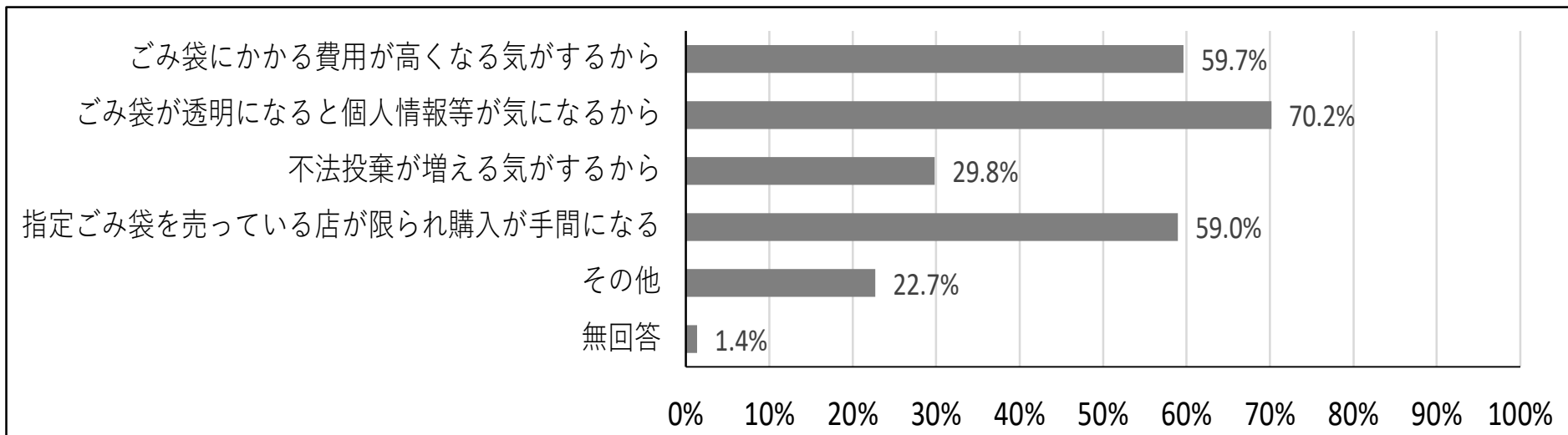


n=954、MA=2、172

市民アンケート結果④ ～市民意見に対する対応～

主な市民意見も考慮した指定ごみ袋とします。

●指定ごみ袋導入に反対される理由



主な意見	対策
ごみ袋が透明になると個人情報等が気になる	袋にデザインをいれたり、少し着色原料をいれます。 また、運用では内袋の使用を認めます。
ごみ袋にかかる費用が高くなる気がする	ごみ処理料金を上乗せした有料化は行いません。
指定ごみ袋を売っている店が限られ購入が手間になる	ごみ袋の種類は1種類のみにします。 市内のスーパー、コンビニ、ドラッグストア等に依頼します。
不法投棄が増える気がする	他市へのアンケートでは、不法投棄の増加は確認できませんが関係部署に注意喚起を促します。

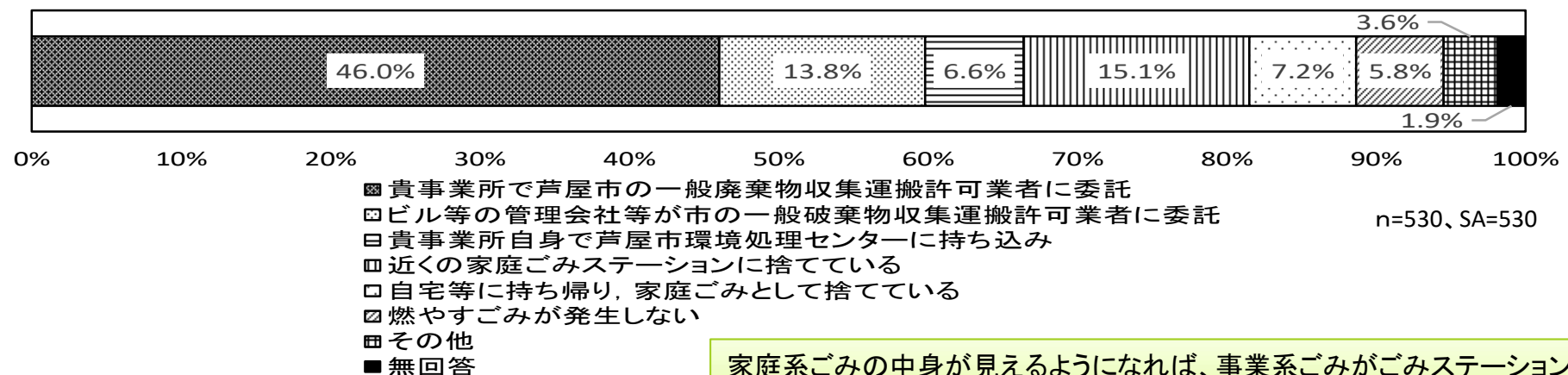
試行期間までに説明会を開催し丁寧な導入を進めます。

事業系アンケート結果① ～燃やすごみの現状～

約15%が家庭ごみステーションを利用し、許可業者と契約していない事業者も存在します。

● 燃やすごみの捨て方について

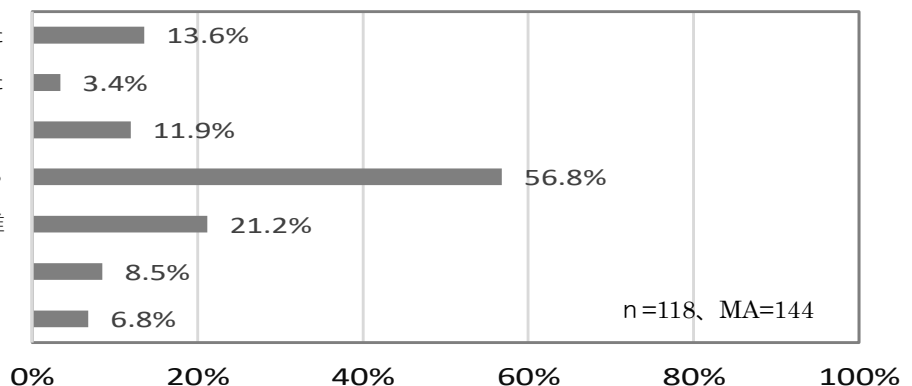
「芦屋市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託」が46.0%と最も多い結果でした。次いで「近くの家庭ごみステーションに捨てている」が15.1%、「ビル等の管理会社等が市の一般破棄物収集運搬許可業者に委託」が13.8%となっています。



家庭系ごみの中身が見えるようになれば、事業系ごみがごみステーションに出されている場合に、ごみ袋を置いてくることができます。

● ごみのステーションに捨てている理由

ごみステーションに捨ててはいけないことを知らなかった
 自宅に持ち帰り、家庭ごみで捨ててはいけないことを知らなかった
 従業員の昼食のごみしか発生しないので、問題ないと思っていた
 少量だから
 自宅兼事業所で、家庭のごみと事業活動のごみの区別が困難
 その他
 無回答



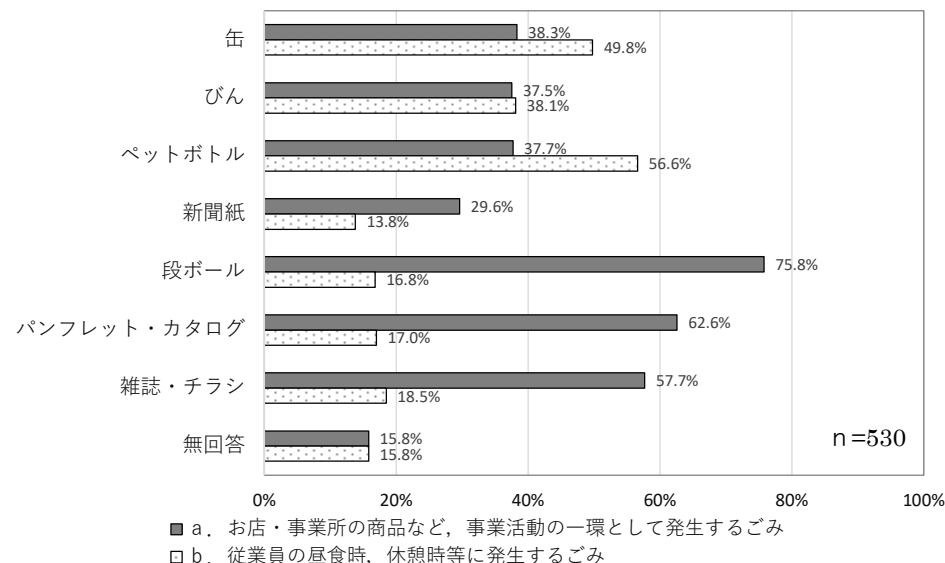
事業系アンケート結果② ～資源ごみの現状～

紙資源や缶，びん，ペットボトルのごみは事業者からも発生しており，分別も可能な事業者が多数存在します。

● 資源ごみの発生の有無について

・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、紙資源が多いです。

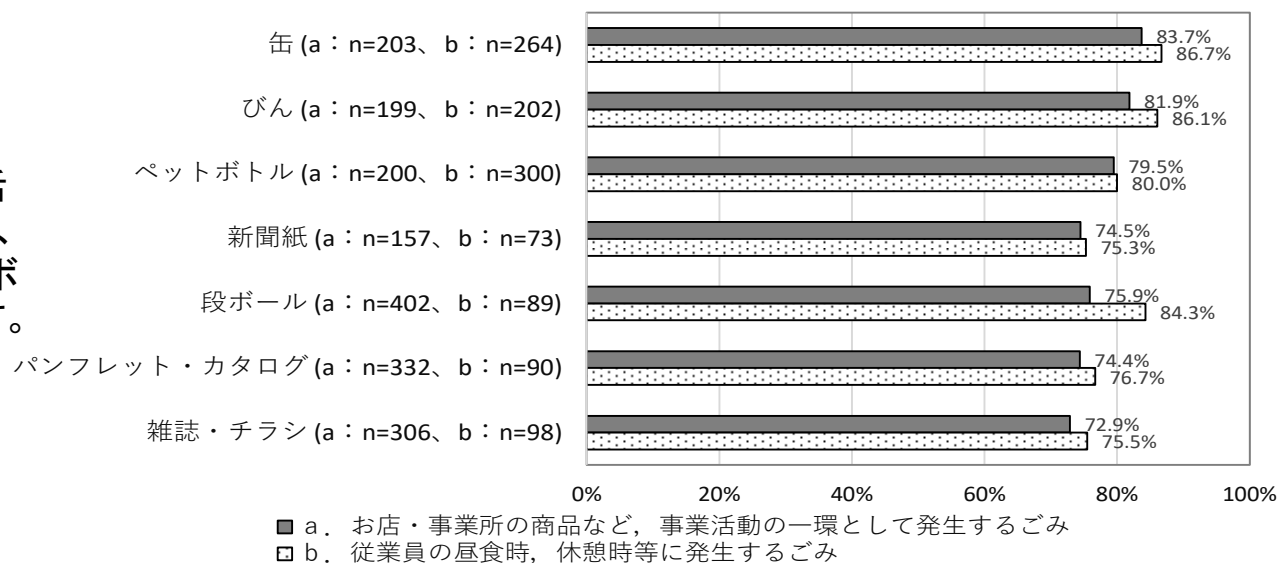
・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」では、「ペットボトル」や「缶」，「びん」が多いです。



● 資源ごみの分別の可否について

・「お店・事業所の商品など、事業活動の一環として発生するごみ」では、8割強の事業者が缶，びん，ペットボトルは分別可能と回答されています。

・「従業員の昼食時、休憩時等に発生するごみ」でも同様の回答です。

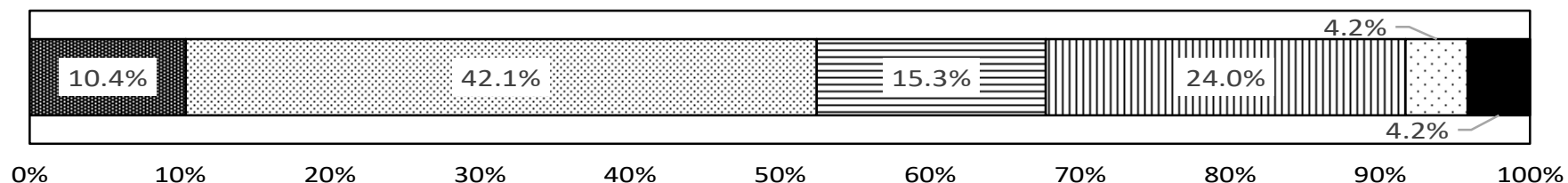


事業系アンケート結果③ ～指定ごみ袋の導入について～

事業者の約7割が賛同も市民と同じ価格帯になるごみ袋を希望しています。

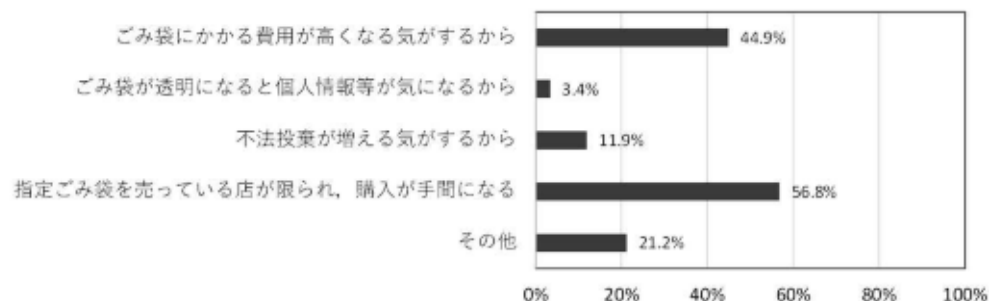
● 事業者用の指定ごみ袋の導入について

・「賛成」「導入もやむをえない」「有料化(料金上乘せ)指定ごみ袋でなければ賛成」を合わせて67.8%が賛同でした。



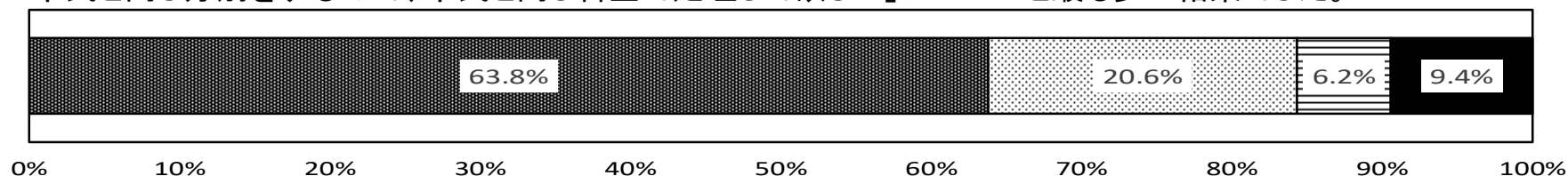
- 賛成
- ▨ 導入もやむをえない
- ▤ 有料化(料金上乘せ)指定ごみ袋でなければ賛成
- 反対
- その他
- 無回答

● 指定ごみ袋反対の理由



● 事業者用の指定ごみ袋の料金について

「市民と同じ分別をするので、市民と同じ料金で処理して欲しい」が63.8%と最も多い結果でした。



- 市民と同じ分別をするので、市民と同じ料金で処理して欲しい
- ▨ 缶、ビン、ペット等本来産廃なので市民より高い料金でも仕方ない
- その他
- 無回答

兵庫県下の事業系一般廃棄物の指定ごみ袋の導入状況

事業系のごみ袋は県下の自治体で考え方が異なります。

種類	該当市	市町数
色指定ごみ袋	朝来市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、加古川市、加西市、南あわじ市、川西市	8市町
〇〇市指定ごみ袋 (単純指定ごみ袋)	三田市、西宮市(令和4年4月～)	2市町
料金上乘せ (有料化) 指定ごみ袋	神戸市	1市町
指定なし※ (持ち込みごみの ルールに準ずる)	芦屋市、明石市、赤穂市、小野市、篠山市、高砂市、たつの市、丹波市、豊岡市、西脇市、姫路市、養父市、淡路市、宍粟市、加東市、稲美町、市川町、福崎町、神河町、太子町、相生市、洲本市、相生市、多可町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町、猪名川町、播磨町	30市町

事業系ごみは、自身で持ち込むか許可業者が持ち込むため、
処理センター(ごみの持ち込みする場所)の持ち込みルールを守れば良い自治体が大半です。

指定ごみ袋仕様等① ～ごみ袋の厚みとコスト～

厚み・人口により1枚当たりの原価が異なります。

	豊中市	神戸市	尼崎市	三木市
人口／世帯数	約40万人 約18万世帯	約150万人 約74万世帯	約46万人 約24万世帯	約7.6万人 約3.4万世帯
材質	高密度ポリエチレン 半透明	高密度ポリエチレン 半透明(空色) (不燃: 低密度ポリエチレン)	低密度ポリエチレン 透明(緑色)	高密度ポリエチレン
厚さ	0.02～0.025mm	0.02mm以上 (不燃0.025以上)	0.03 mm以上	0.02mm
引張強さ	縦49MPa以上 横44.1MPa以上	29.4 MPa以上	縦16.7 MPa以上 横16.7 MPa以上	芦屋市は人口が少ないため、他市と同じ厚みの袋でも割高になる可能性有
ヒートシールの強さ	9.8N以上		6.86 N以上	
(参考)大手スーパー 販売価格	429円/50枚 (8.58円/枚)	426.8円/50枚 (8.53円/枚)	517円/50枚 (10.34円/枚)	305.8円/30枚 (10.19円/枚)

家庭用でもコスト差があるため、事業系用ごみ袋では1枚当たりの金額上昇の可能性大

指定ごみ袋仕様等② ～対象品目とサイズ～

自治体により対象品目、作成するごみ袋の種類が異なります。

自治体名	種類	対象品目	作成サイズ	事業系
豊中市	種類1	可燃ごみ 不燃ごみ 空き缶・危険ごみ プラスチック製容器包装 ペットボトル 布	10、15、30、45	指定なし (持ち込みごみのルールに準ずる)
尼崎市	種類1	燃やすごみ びん・缶・ペットボトル 衣類 危険なもの	10、30、45	色指定ごみ袋
加古川市	種類1	燃やすごみ	15、30、45	色指定ごみ袋
長岡京市	種類1	燃えるごみ	15、30、45	指定なし (持ち込みごみのルールに準ずる)
西宮市	種類1	もやすごみ	5、15、30、45	単純指定ごみ袋
西宮市	種類2	その他プラスチック製容器包装	5、15、30、45	
三木市	種類1	燃やすごみ	15、30、45	指定なし (持ち込みごみのルールに準ずる)
三木市	種類2	資源プラスチック	30、45	
神戸市	種類1	燃えるごみ	15、30、45	料金上乘せ指定ごみ袋 (有料化)
神戸市	種類2	燃えないごみ	15、30、45	
神戸市	種類3	缶、ビン、ペットボトル	15、30、45	
神戸市	種類4	容器包装プラスチック	15、30、45	

芦屋市の
指定ごみ袋の
仕様(案)

- 分別の促進・ごみの減量→対象品目は燃やすごみ その他燃やさないごみ
- ごみ袋の単価上昇による負担を考慮→作成する種類1種類
- 高齢者の生活・パイプライン利用者の考慮→作成サイズは小さいサイズ含め複数サイズ
- 事業者数の少なさ・小規模事業者の多さを考慮→事業系ごみは 色指定ごみ袋(透明)

指定ごみ袋イメージ

指定ごみ袋が単なるごみ処理袋ではなく +α になるように検討します。



持ち手をつける
破れにくい袋にする
など 実用性も高め
た上でデザインもい
れていきます

啓発をいれながらデザインをいれ景観に配慮します。※実際は中身の見えるごみ袋になります。

スケジュール

令和5年度より指定ごみ袋制に移行します。

実施項目	令和3年度		令和4年度				令和5年度	
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
基本計画	→							
パブリックコメント	★							
導入計画決定		★						
指定ごみ袋の規格検討	→							
条例等の改正			★					
イラストデザイン公募				→				
製造業者の認定				→				
指定ごみ袋の製造				→				
指定ごみ袋の販売					→			
啓発活動の推進			→					
指定ごみ袋制度の試行							→	
指定ごみ袋制度の実施								★

芦屋市指定ごみ袋(案)まとめ

持続可能な循環型社会を目指し、指定ごみ袋を導入します。

● ごみ袋の金銭的負担を考慮します。

- 芦屋市独自の専用指定ごみ袋(ごみ処理料金の上乗せしない単純指定ごみ袋)

袋は1種類ですが、袋をやぶれにくくする分やや市場価格として高くなる可能性があります。

● 分別の促進、燃やすごみの減量のため導入します。

- 対象① 燃やすごみ
- 対象② その他燃やさないごみ

市民負担を考慮し
同じごみ袋で対応

紙ごみ、びん、カン、ペットボトルは従来どおり

● 十分や説明期間・準備期間を持ち開始します。

- 令和5年春試行開始
- 令和5年夏本格実施

説明会の実施や、デザインの募集で周知啓発を図ります

● 利便性を考慮した指定ごみ袋とします。

- 作成は1種類のみ(燃やすごみ・その他燃やさないごみ共用)
- 袋は破れにくく、取っ手をつける、景観に配慮する、サイズの多様化etc

● その他

- 持ち込みごみは中身の見える状態のみ可
- 事業系ごみは透明ごみ袋の運用

中身が見えることで
持ち込みごみも分別を徹底

事業系ごみは、
・事業系ごみのごみ出しルールの浸透
・家庭ごみステーションの利用不可の啓発を優先します。

指定ごみ袋を導入し意識の改善を図ることで各々が自分事ととらえ、
市民・事業者・行政 三者協働で持続可能な循環型社会を目指します。